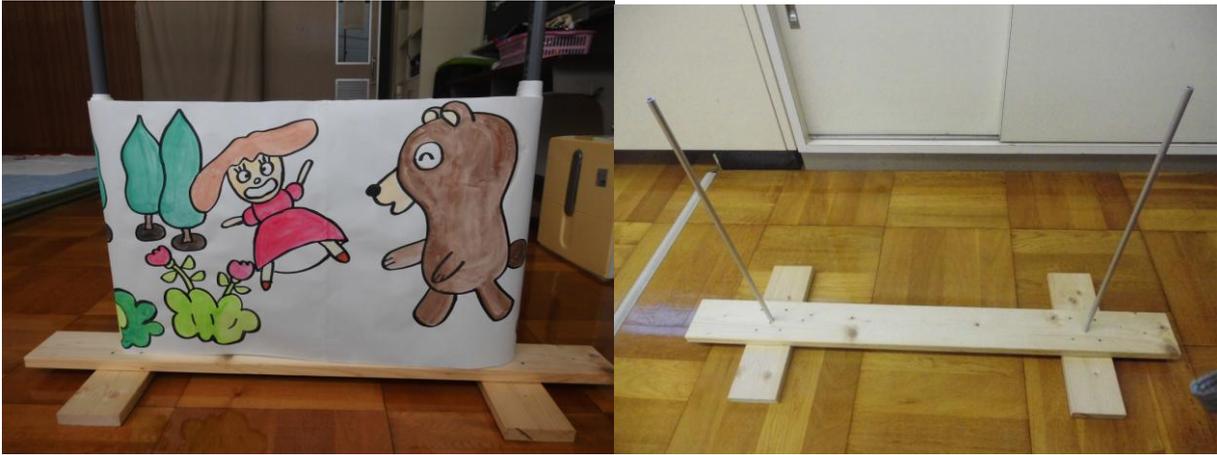


【教材名】 くるくる紙芝居	【教科・領域】 遊びの指導	【対象】 小学部児童
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none">・音楽と流れる絵を見て、お話のイメージを持つ。・集団でお話を楽しむことができる。		
<p>○教材の概要</p> <p>①木の板で土台を作る。 (横板90cm, 縦板30cm×2枚を写真のように釘で固定し、板と板の交差点2か所に直径9mmの穴を開ける。直径9mmのアルミパイプを60cmの長さに切ったものを2本作り、穴に差し込む。)</p> <p>②童謡の歌詞と絵を計算して、下絵を作る。(1場面を約60cmで区切った。)</p> <p>③模造紙を半分に切って絵を描いてつなぎ合わせる。</p> <p>④塩ビパイプ2本に模造紙を張り付けて巻く。</p>		
		
<p>○工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・場面が次々に変化し、絵が流れて見えることで、登場する動物等が本当に動いているように見える。・児童たちの馴染みのある童謡のお話を題材にすることで、お話がより具体的に分かる。 <p>○使用方法</p> <ul style="list-style-type: none">・登場する動物のぬいぐるみ等を提示して、ヒントを与えて今から始まるお話の内容を考えさせる。・音楽の歌詞と絵を照らし合わせて、紙芝居をくるくると巻いていく。		
<p>○効果・改善点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちのよく知っている童謡を使用した。流れる絵に集中して見続ける児童と一緒に歌って参加する児童もいた。・CDの歌で実施をしたので、歌や絵の流れるスピードが速く感じた児童もいたかもしれないので、次回はみんなでゆっくり歌って実施してみたい。		